

北上市総合計画 2021~2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和6年度）

基本方針	6.健康と安心の地域づくりの推進
基本施策	6-1.自分らしい生き方を支える健康寿命の延伸
関連するプロジェクト	6.いきいき元気ライフプロジェクト

市民の主体的な健康づくりと生きがいづくりを支援するため、活発な地域活動の継続と健康増進への気運をさらに高めるとともに、最新技術を活かした医療・介護を提供する取組の推進、適切な感染症対応や持続可能な社会保障制度の運営を図ります。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
C

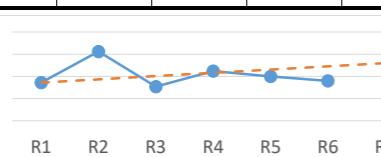
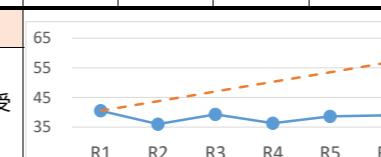
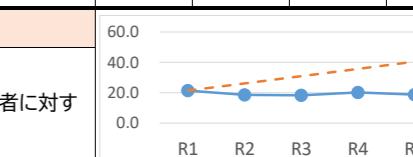
※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
13

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析		今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かること) (◇:R7/◆:R8以降)
							市の活動による影響(内部要因)	社会環境の変化等による影響(外部要因)	
1	健康こども部	● 健康づくりへの支援	働き盛り世代の生活習慣病予防や、高齢者の疾病的重症化予防と介護予防を一体的に推進する等、健康診査の結果を基に各年代に応じた保健指導を充実・強化し、市民の生活習慣病予防や疾病的重症化予防の意識啓発を進め、健康寿命のさらなる延伸を目指す。	③⑤⑥	③健康福祉ポイントの3,000ポイント達成者は期待値を上回った。 ⑤特定健診受診率は、R5年度より上昇したが、期待値を下回っている。 ⑥後期高齢者健康診査受診率は、R5年度より上昇したが、期待値を下回っている。	C	指標に関する内容 ③健康福祉ポイントの3,000ポイント達成者は期待値を上回った。 ⑤特定健診受診率は、R5年度より上昇したが、期待値を下回っている。 ⑥後期高齢者健康診査受診率は、R5年度より上昇したが、期待値を下回っている。	指標に関する内容 ⑤⑥集団健診の受診者数は横ばいであるが、個別受診の受診者数が増加傾向にあり、5年間で特定健診の個別健診が600人程増えている(500人→1,100人) ⑤⑥全体の対象者のうち、1割以上が医療機関へ通院している等の理由で健診を受けていない。	◇継続して健診会場で特定保健指導初回面接を実施し、生活習慣改善について早期から意識づけを図る。 ◇継続してアウトリーチでの保健指導や広報等での啓発活動を実施し、生活習慣病予防や疾病的重症化予防を図る。 ◆健康福祉ポイント事業を通じて定着した運動習慣・健康意識を市民幅広く健診受診等につなげていく。
							指標以外の内容	指標以外の内容	
2	福祉部	在宅医療等の推進と医療・介護連携の強化	在宅医療を支える資源の充実と資源間ネットワークの構築を進めるとともに、病院入退院における医療・介護の多職種連携の円滑化を進め、スムーズな在宅療養生活への移行を進める。	①	3年毎の介護保険計画によるアンケート調査において、介護が必要になった時に在宅療養・在宅介護を希望すると回答した人の割合、期待値を下回っているもの増加傾向である。	B	指標に関する内容 3年毎の介護保険計画によるアンケート調査において、介護が必要になった時に在宅療養・在宅介護を希望すると回答した人の割合、期待値を下回っているもの増加傾向である。	指標に関する内容 ・在宅療養・介護を希望する人が住み慣れた自宅で介護サービスを受けながら安心して暮らすことのできる連携体制が整ってきており、それが市民の意識にも現れてきている。 ・ひとり暮らし高齢者及び認知症高齢者の増加・世帯人員の減少などにより、在宅で介護することが難しいケースが多くなっている。	◇改訂した入退院支援ハンドブックを活用し、在宅の医療と介護の連携を更にスムーズに進める体制を作る。 ◇きたかみ型地域包括ケアの構築に向け、医療介護の人材育成のための研修や支援体制を整備し、各機関との連携を推進する。
							指標以外の内容 ・厚生労働省の地域包括ケア「見える化システム」の実績値により、在宅療養を支える医師や介護職等、多職種の連携が進んでいることがデータでも明らかである。 ・在宅医療介護連携推進協議会 3回 ・在宅医療介護連携支援センターの設置 1か所 ・在宅医療介護連携支援センター相談対応件数 117件	指標以外の内容 ・在宅医療介護連携支援センター設置から9年経過し、相談窓口の認知度が向上している。また、職員の相談対応能力が向上している。 ・在宅医療介護連携推進事業をロードマップに基づき順調に進めている。	
3	福祉部	● フレイル予防の推進	フレイルへの理解を広め、「身体的な衰え」「精神的・心理的な衰え」「社会的な衰え」の進行を予防する取り組みを推進する。	②	市民意識調査の結果、心身ともに健康だと感じる人の割合(70歳代以上)は59.6%となっており、R5年度から概ね横這いで推移している。	B	指標に関する内容 市民意識調査の結果、心身ともに健康だと感じる人の割合(70歳代以上)は59.6%となっており、R5年度から概ね横這いで推移している。	指標に関する内容 ・広報や出前講座hoKkoまちの保健室を通じて、住民へのフレイル予防の周知、啓発を行った。	◇地域包括支援センターと連携し、新たな体操グループの立上げ支援、活動の継続支援に取り組む。 ◇誰でも気軽に運動や健康相談等ができる場として、通年で「hoKkoまちの保健室事業」を継続し、住民が継続的にフレイル予防に取り組くめるよう支援する。 ◇フレイル予防について、庁内連携しながら引き続き周知、啓発を行う。
							指標以外の内容 ・誰でもいつでもフレイル予防に取り組める事業を推進している。 ・通いの場のグループ数75グループ ・hoKkoまちの保健室事業…1か所(概ね週1回)・47回・参加者延べ人数1,260人	指標以外の内容 ・フレイル予防、健康づくりの取組として、高齢者が屋外で安全に運動するためのコンテンツとしてポールウォーキングの普及を行った。 ・通いの場への体操指導・運営支援が通いの場の活動継続につながっている。 ・他課と連携し、フレイル予防の周知、啓発を広く行うことができた。	

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析		今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かること)(◇:R7/◆:R8以降)
							市の活動による影響(内部要因)		
4	健康こども部	●	口腔の健 康維持、 向上のため の支援	④	<p>受診率は目標値を下回っているが20%前後の横 ばいの状況である。</p> <p>歯の喪失を防ぐため、成人歯科検診 の機会を通して口腔衛生指導を行うと ともに、健康ポイントの対象事業に組 みこむなど、受診意欲を高める工夫を する。</p>	<p>B</p> <p>(B)</p>	<p>指標に関する内容</p> <p>・R5年度から、対象を40歳に加え50・60・ 70歳に拡充し歯周病健診を実施している。 ・昨年度診療歴が無い対象者に対して受診勧 奨を手厚くしているが効果は限定的であつ た。</p>	<p>指標に関する内容</p> <p>コロナ禍以降、歯科検診受診率が減少してお り、特に40歳は顕著である。</p>	<p>受診率の向上のため、次の取組を進めることとしている。 ◇定期健診実施者に健康福祉ポイントの付与を実施している。 ◇9月頃に未受診者へ受診勧奨周知を行う。 ◇歯科医院の協力を仰ぎ、WEB予約のできる歯科医院やお子さま連れで受診可能な歯科医院の紹介を二次元コードで通知書に盛り込ん でいる。 ◇通知紙面で、早め受診を促す内容にしたり検診所要時間を示して予 定の見通しが立つようにした。 ◇国保データベースシステムを活用し糖尿病の既往がある者に対して アプローチする。</p>
							<p>指標以外の内容</p> <p>・広報や公式LINE等を活用して「定期的に(年に一度は)歯医者さんへ」等の啓蒙をして いる。 ・虫歯の子どもが多い幼稚園や保育園にはこ ちらからアプローチし、また参観日に合わせて 歯科指導を実施するなど工夫することで歯科 受診の意欲向上に繋げている。</p>	<p>指標以外の内容</p>	

凡例 ● 実績値 ■ 期待値

指標①		指標の説明									指標②		指標の説明									指標③		指標の説明								
担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
福祉部	% ※R7は目標値	実績値	54.3			56.0				福祉部	% ※R7は目標値	実績値				35.5	61.1	59.6		健康こども部	人 ※R7は目標値	実績値	-	0	0	268	528	658				
		期待値	54.3	55.3	56.2	57.2	58.1	59.1	60.0			期待値	※R7は目標値			35.5	45.3	55.2	65.0			期待値	※R7は目標値	-	0	160	320	480	640	800		
		備考	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施				備考	未実施	未実施	未実施	参考値						備考										
指標④		指標の説明			指標⑤		指標の説明				指標⑥		指標の説明																			
健康こども部	% ※R7は目標値	実績値	18.6	25.6	17.7	21.2	20	19.0		健康こども部	% ※R7は目標値	実績値	40.5	36.0	39.3	36.3	38.6	39.0		健康こども部	人 ※R7は目標値	実績値	21.4	18.6	18.3	20.2	18.8	19.2				
		期待値	18.6	19.3	20.1	20.8	21.5	22.3	23			期待値	※R7は目標値	40.5	43.8	47.0	50.3	53.5	56.8	60		期待値	※R7は目標値	21.4	26.2	30.9	35.7	40.5	45.2	50.0		
		備考										備考								備考												
指標⑦		指標の説明			指標⑧		指標の説明			指標⑨		指標の説明																				
担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									
		備考										備考										備考										
指標⑩		指標の説明			指標⑪		指標の説明			指標⑫		指標の説明																				
担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									
		備考										備考										備考										
指標⑬		指標の説明			指標⑭		指標の説明			指標⑮		指標の説明																				
担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	担当部等	単位	実績値	R1 （現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
		期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									期待値	※R7は目標値									
		備考										備考										備考										